

令和3年度第1回大分市総合教育会議 議事録

1. 日 時 令和3年6月2日(水) 11:00~12:00

2. 場 所 議会棟4階 全員協議会室

3. 出席者

○総合教育会議構成員

大分市長	佐藤 樹一郎
大分市教育委員会教育長	佐藤 光好
大分市教育委員会委員	古城 和敬
大分市教育委員会委員	上杉 美穂子
大分市教育委員会委員	古城 一
大分市教育委員会委員	岡野 涼子
大分市教育委員会委員	廣津留 すみれ

○事務局

企画部長	伊藤 英樹	教育部長	末松 広之
子どもすこやか部長	藤田 恵子	教育監	高橋 芳江
企画部審議監	高橋 賢次	教育部審議監兼文化財課長	坪根 伸也
企画部審議監兼スポーツ振興課長	三好 正昭	教育部次長	桑野 徹
企画部次長兼企画課長	小野 晃正	教育部次長兼総務課長	高田 隆秀
企画部次長兼文化振興課長	上原 徹夫	教育部次長兼社会教育課長	村上 雄二
国際課長	渡邊 裕美	学校教育課長	野田 秀一
市民協働推進課長	足立 秀雄	学校施設課長	新納 健二
長寿福祉課長	山本 雅博	体育保健課長	清水 篤
障害福祉課長	田崎 敢	人権・同和教育課長	高橋 秀徳
生活福祉課長	秦 尚裕	大分市教育センター所長	佐藤 義仁
保健総務課長	衛藤 祐一	大分市美術館副館長兼美術振興課長	長田 弘通
保健予防課長	後藤 哲也	教育総務課主査	園田 哲也
子どもすこやか部次長兼子育て支援課長	横川 幸一		
子どもすこやか部次長兼保育・幼児教育課長	朝来野 浩		
公園緑地課長	定野 伸二		
企画課参事補	足立 威士		
企画課主査	上杉 幸喜		

4. 次 第
- (1) 開 会
 - (2) 議 事
 - ①学校等における新型コロナウイルス感染症への対応について
 - ②令和3年度「大分市教育大綱・大分市教育ビジョン」関連事業について
 - (3) 閉 会

開会 企画部長	<p>ただいまから、令和3年度第1回大分市総合教育会議を開会いたします。会議の進行を務めさせていただきます、企画部長の伊藤でございます。どうぞよろしくお願いいたします。</p>
教育長	<p>議事に入ります前に、5月14日に佐藤光好様が教育長に就任されるとともに、廣津留すみれ様が新たに教育委員に就任されましたので、お二人からご挨拶をいただきたいと存じます。</p> <p>はじめに、佐藤光好教育長、よろしくお願いいたします。</p>
企画部長	<p>こんにちは。5月14日付で新しく大分市教育委員会教育長に就任いたしました佐藤です。よろしくお願いいたします。</p> <p>これまでも、挨拶の中で申し上げておりますが、社会情勢の変化等、いろいろな変化の中で、改めて子どもたちを主体に見据えた教育、子どもたちが主役となる教育の実現を一層推進していきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。</p>
廣津留委員	<p>ありがとうございます。</p> <p>続きまして、廣津留すみれ委員よろしくお願いいたします。</p>
企画部長	<p>皆様はじめまして。5月14日付で教育委員を拝命しました廣津留すみれと申します。</p> <p>私は小・中・高の18年間大分市におりまして、その後、大学・大学院とアメリカに行っておりました。今回、日本に帰国し、地元でこのような大切な任務を担うこととなり、大変責任を感じております。女性の視点、海外からの目線、文化の視点等々、多様性が叫ばれる昨今でありますので、いろいろな視点から私なりの意見などができればと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。</p>
企画部長	<p>ありがとうございます。</p> <p>それでは、会議に入りますが、初めに本会議の議長でございます、佐藤市長からご挨拶申し上げます。</p>

<p>市長</p>	<p>皆様おはようございます。佐藤でございます。</p> <p>今日は、令和3年度第1回大分市総合教育会議にご出席いただきまして誠にありがとうございます。</p> <p>佐藤さんには教育長に、そして廣津留さんには新たに教育委員に就任していただきましてありがとうございます。</p> <p>ご挨拶にありましたけど、二人ともすでに大分県あるいは大分市の教育にいろいろな形で大変ご貢献いただいております。またこの場で、様々なご提言・ご意見をいただければと思っております。よろしくお願い申し上げます。</p> <p>さて、新型コロナウイルス感染症について、今日の議題にもなっておりますけど、簡単に状況をご紹介させていただきます。お手元に「市長からのメッセージ」をお配りしておりますが、これは陽性者が出た際に発出し、昨日版で208回目のメッセージになっています。</p> <p>大分市、大分県の陽性者数ですが、一時期より少し減ってきておりますが、今日は増える状況がございます。大分市で言いますと、居住者で15名、大分市保健所の取り扱いが18名です。県もこれに合わせて増えます。報道されておりますけど大半が、中学生、高校生でございます。高体連、中体連は今日から始まっておりますけど、保健所と教育委員会がしっかりと連携を図って感染が拡大しないように取り組んでいきたいと思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。</p> <p>メッセージの4つ目の所に「軽症と思っても急激に悪化する事例も出ています。職場の同僚の様子に異変を感じ、咳きこんでいたり、きつそうな場合にはぜひ周りから声を掛けてください」と書いております。大分は産業都市でございます、単身赴任の方、単身世帯の方がたくさんいらっしゃいます。そういう方は家に帰っても家族が見て、ちょっと様子がおかしいと言ってもらえる環境ではありません。そして、熱がある、咳が出るけど我慢していれば治るだろうということで、我慢していると急激に悪くなるというのが、コロナの特徴でございます。職場とか周りの方が見ていただいて、何か様子がおかしいと思ったら、声をかけていただくと救える命が救える。私どもが前から目標にしておりますが、コロナに罹る場合は、風邪と一緒にですので、いくら注意しても罹る時は罹ります。大部分の方は軽症で治っておりますけど、重篤者を出さないこと、あるいは亡くなる方を出さないことを目標にしております。そう意味で、こういうちょっとした取組をいろんな所でしていただきましたら、救える命が救えるということ。是非お願いしたいなと思っております。ちょっと減ってきましたけど、これからインド株なども心配されますし、第3波のときもこれで終わるかと思いましたら、大変な事になりましたので、引き続きよろしくお願いしたいと思います。</p>
-----------	--

<p>企画部長</p>	<p>また、子どもにもうつるので、学校現場、幼稚園・保育園などでも今まで以上に警戒が必要になっておりますので、よろしくお願い申し上げます。</p> <p>本日の会議では、まず、学校等における新型コロナウイルスの感染症への対応、それから、教育大綱・教育ビジョンに関連した事業につきまして、事務局からの説明の後、皆様からご意見をいただきたいと思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、議事に入らせていただきます。議事の進行につきましては、本会議の議長であります佐藤市長をお願いいたします。</p>
<p>市長</p>	<p>それでは早速1つ目の「学校等における新型コロナウイルス感染症への対応について」事務局から説明をお願いします。</p>
<p>保健予防課長</p>	<p>保健予防課長の後藤でございます。</p> <p>私の方からは、1. 新型コロナウイルス感染者の発生状況等について5月31日現在の状況についてご報告させていただきます。</p> <p>(1) 感染者の発生状況や検査体制についてでございます。令和3年5月31日現在の陽性者数や入院中等の人数について掲載しております。2段目の大分市民につきましては、陽性者1,799人、入院中の方213人、退院された方1,564人、お亡くなりになられた方22名となっております。</p> <p>②大分市民等のPCR等検査件数及び陽性者数についてでございます。青色の棒グラフが月別の検査件数、赤の折れ線グラフが陽性者数を示しております。4月以降の陽性者数の著しい増加が確認出来ると思っておりますが、5月31日現在で5月は870人の陽性者が確認されております。大分市の陽性者につきましては、4月に入りまして4月19日までは陽性者数5人以下で推移しておりましたが、4月21日に病院関連、カラオケ関連にクラスターが発生し、24人の陽性者が確認された以降は、高止まりの状況が続いております。保健所におきましても、感染経路や濃厚接触者を調査する積極的疫学調査を行い、感染防止に努めているところでございますが、第4波では、経路不明や家族内感染、子どもへの感染が増えておりまして、また、飲食店や事業所におけるクラスターが発生しているところです。</p> <p>③大分市保健所に寄せられた相談についてでございます。相談件数についても、陽性者数の増加とともに5月につきましては、治療や受診に関する相談が多く寄せられております。</p> <p>次のページです。</p> <p>④大分市抗原検査センターの設置についてです。令和3年4月29日から</p>

<p>体育保健課長</p>	<p>6月30日までの間、感染者の多い地域から本市への移動に伴う感染拡大を防ぐため、県外から本市へ移動して来られる方を対象に簡易抗原検査キットによる検査を行う「大分市抗原検査センター」をJR大分駅北口に設置しています。</p> <p>抗原検査キットで陽性反応があった方は、改めてPCR検査（遺伝子検査）を行い、確定判定をしています。</p> <p>また、5月7日からは検査対象を市内の商店や飲食店等の利用者や従業員等にも拡大し検査をしています。</p> <p>開設した4月29日以降、5月末までの検査実績としましては、利用者数21,195人で抗原検査キットによる陽性者は77人、その後PCR遺伝子検査でも77人全ての方が陽性となっています。</p> <p>(2) 新型コロナウイルスワクチン接種についてでございます。</p> <p>接種券の発送につきましては、75歳以上の方約7万人に対して4月26日に発送いたしました。また、65歳以上74歳の方約68,000人については、6月1日に発送したところでございます。接種を専門に行う接種センターでは5月10日から、医療機関での接種は5月24日から開始しております。</p> <p>③接種場所についてでございますが、大分市では接種センターにおける集団接種と医療機関における個別接種との併用により接種を行っているところです。現在接種センターの予約枠の拡充を行いながら、接種を希望する高齢者の7月末の完了に向けて取り組んでいるところでございます。</p> <p>以上でございます。</p> <p>体育保健課の清水でございます。</p> <p>次に2.大分市立小中学校及び義務教育学校における対応について説明いたします。</p> <p>(1) 学校における感染症対策についてでございます。</p> <p>1点目、基本的な感染症対策につきましては、教育委員会では文部科学省の衛生管理マニュアルに基づき、感染症対策の具体的内容や学習指導等に関する留意点、感染者が発生した場合の対応などをまとめた「大分市立学校新型コロナウイルス感染症対策と教育活動に関するガイドライン」を昨年11月に策定し新たな情報や知見に基づき3月に改訂を行ったところでございます。現在は本ガイドラインバージョン3に基づき健康観察カードを活用した家庭と連携した健康観察や児童生徒に対する感染症予防の指導などを実施するとともに、できる限り3つの密を避けるなど各学校において感染症対策を徹底し学校教育活動を継続しているところでございます。</p> <p>2点目、部活動につきまして、5月末まで他校との交流や合宿は行わないこととしておりましたが、地域の感染状況を鑑み、6月13日まで期間を延長したところでございます。また、部活動前後での集団での飲食を控える</p>
---------------	--

<p>学校教育課長</p>	<p>ことも再度指導しているところでございます。なお一部の競技を除きまして、本日から6月4日までの間、大分市中学校総合体育大会を無観客、試合数の削減等感染症対策を講じるなかで実施いたします。</p> <p>以上でございます。</p> <p>学校教育課の野田でございます。</p> <p>③学校行事についてでございます。</p> <p>まず、修学旅行につきましては、ご覧のように例年でありますと小中学校共に春、秋に県外実施しておりました。現時点では、小中学校共に県内1泊2日と予定しております。なお、宿泊につきましては、今後の感染状況等を踏まえた上で慎重に、日帰り旅行にするなど判断して参りたいと考えております。</p> <p>次に宿泊体験活動ですが、小学校5年生、中学校1年生で実施しております。現時点では、予定通り、宿泊を伴う実施を予定しておりますが、今後活動場所、滞在日数等につきましても感染状況を踏まえまして慎重に判断してまいりたいと思っております。</p> <p>なお、今年度4月、5月に計画していた小中学校につきましては、全て日帰りで実施させていただきました。</p> <p>次に運動会・体育大会でございます。大分市内の小中学校につきましては、例年、春や秋にかけて実施しておりますが、今年度の春実施分につきましては、全て2学期の9月以降に実施することとしております。</p> <p>以上でございます。</p>
<p>学校施設課長</p>	<p>学校施設課の新納でございます。</p> <p>資料5ページをご覧ください。</p> <p>④の施設整備につきましては、令和3年において、新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策として3項目取り上げております。</p> <p>1つ目の自動水栓整備につきましては、全小中学校及び義務教育学校のトイレの手洗い場の蛇口を自動水栓に改修いたします。</p> <p>2つ目のトイレ洋式化改修工事につきましては、例年以上に基数を増やし、和便器を洋便器に改修いたします。</p> <p>3つ目のその他学校教育活動継続支援事業につきましては、感染症対策に係る消毒器やサーモカメラ等の学校現場に必要な生じた物品の購入について、各学校長の判断で迅速に購入できるように各学校に追加予算を配当し、整備するものでございます。</p> <p>以上でございます。</p>
<p>人権・同和教育</p>	<p>人権・同和教育課の高橋でございます。</p>

<p>課長</p>	<p>「新型コロナウイルス感染症による偏見や差別への対応について」ご説明いたします。</p> <p>資料5ページをご覧ください。</p> <p>学校においても児童生徒及びその家族が感染者や濃厚接触者となる場合もあることから、全教職員が共通理解のもと、偏見や差別を起こさない学校づくりを進めています。そこで教育委員会といたしましては、5月6日付けで「新型コロナウイルス感染症に係る児童生徒及びその家族への対応について」を学校宛に通知いたしました。</p> <p>昨年8月に送付した「偏見や差別を起こさないために」や「偏見や差別が起きてしまったら」などを記した「新型コロナウイルス感染症による偏見や差別への対応について」を再度送付するとともに、今回は感染者やその家族を孤立させないための対応や、学校内で偏見や差別を起こさないための取組などについてまとめたチェックシートを作成し、併せて送付しております。</p> <p>そして、児童生徒への感染者が確認された学校には、まずこちらから学校に連絡をとり、偏見や差別の対応について学校が困りを抱えた際には、人権・同和教育課や人権・同和対策課に相談しやすいような体制づくりを進めているところでございます。</p> <p>また、偏見や差別の解消に向けた学習指導資料集を作成いたしました。それを大分市教育センターホームページ内の教職員専用コンテンツに掲載し、授業実践等での活用を推進しているところでございます。</p> <p>以上でございます。</p>
<p>大分市教育センター 一所長</p>	<p>大分市教育センターの佐藤でございます。</p> <p>(3) 臨時休業時等における一人1台端末の活用についてご説明いたします。現在の状況についてですが、一人1台端末については、児童生徒に配付し、端末やクラウドサービスの取り扱い方法について説明しているところでございます。</p> <p>モバイルルータについては、大分市教育センターにおいて、3,000台の貸与準備が完了しております。</p> <p>なお、児童生徒及び家族が陽性判定や濃厚接触者となり、自宅待機となった場合には、学校と家庭間で協議を行うなか、端末の持ち帰りを認め、遠隔授業ソフトを利用して、担任と児童生徒が顔を見ながら双方向のやり取りを実施しております。</p> <p>②今後の方向性のうち、臨時休業時における対応としましては、全市的又は学校ごとに臨時休業となった場合や児童生徒に個別対応が必要となった場合において、端末を家庭に持ち帰ることによる学習支援を実施することとしており、インターネット環境がない家庭には、学校を通じてモバイ</p>

	<p>ルルータを貸与することとしております。</p> <p>学習支援の内容といたしましては、教員からの課題やお知らせなどの配付、児童生徒から課題を提出させ、進捗や理解度を確認しながら学習を進めることや遠隔授業ソフトを利用した双方向のやり取りにより、教員と児童生徒が表情を見ながら説明や意見交換を行うことなどを考えております。</p> <p>また、端末の持ち帰りに向けて、各学校にクラウドサービスについての説明資料を配付するとともに、操作研修を実施しております。その後、教員及び児童生徒が授業等で利用することにより、端末操作の習熟度を向上させているところでございます。</p>
<p>保育・幼児教育課長</p>	<p>保育・幼児教育課の朝来野です。</p> <p>7ページをご覧いただきたいと思っております。</p> <p>3. 幼稚園、保育所等における対応の（1）幼稚園、保育所における感染症対策についてご説明いたします。</p> <p>本年3月に策定しました「新型コロナウイルス感染症対策に関するガイドライン」を、全ての幼児教育・保育施設へ配布し、感染症対策の徹底に努めていたところでございます。</p> <p>また、保育所においては、吐物処理の対応マニュアル及び保健マニュアルによりまして感染症対策の徹底、幼稚園においては、ステップアップ研修及び巡回指導において感染症対策の周知・徹底に努めているところであります。</p> <p>併せて、新型コロナウイルス感染症による偏見や差別へ対応するため、チェックシートを作成し、職員の共通理解を促してまいりました。</p> <p>更に加えて、今年度は、市立幼稚園及び市立保育所に手洗いの自動水栓化の整備も予定しております。</p> <p>説明は、以上でございます。</p>
<p>子育て支援課長</p>	<p>子育て支援課の横川です。</p> <p>（2）放課後児童クラブにおける感染症対策について、ご説明いたします。</p> <p>放課後児童クラブにつきましては、クラブを利用する児童や関係者に陽性者が出ない限り、原則開所としておりますが、ウイルスの変異株拡大を受けまして、当該小学校で感染者が発生し、小学校が臨時休業となった場合には、市とクラブが協議の上、地域の実情に応じて、臨時閉所することといたしております。</p> <p>また、感染症対策といたしましては、各クラブに検温用のサーモカメラや各部屋に1台の空気清浄機、自動消毒器などの購入費用を補助し、備え</p>

	<p>付けるとともに、ペーパータオルやゴム手袋、アルコール消毒液、不織布マスクなどの消耗品も随時配布を行い、感染症対策に努めているところで</p> <p>す。</p> <p>加えまして、児童育成クラブ 53 か所につきましても、トイレの手洗い場を中心とした自動水栓化を今月から順次行う予定です。</p> <p>説明は、以上でございます。</p>
<p>スポーツ振興課長</p>	<p>スポーツ振興課の三好と申します。</p> <p>スポーツ少年団における感染症対策についてです。</p> <p>スポーツ少年団、主に小学生が中心となるスポーツ少年団の活動は、中学校等の学校部活動の活動に準じた対策を講じております。また、学校が臨時休業する場合には、当該学校に在籍する児童生徒が所属するスポーツ少年団の活動を休止するよう通知することとしております。</p> <p>以上でございます。</p>
<p>市長</p>	<p>はい、ありがとうございました。</p> <p>それでは少し駆け足の説明になりましたけど、ただいまの説明等につきまして、ご意見ご質問はございますか。</p>
<p>古城（和）委員</p>	<p>それぞれの部署で対策を徹底されているとっておりますが、これから先の話、熱中症対策との絡みが大事になっていくとっております。特に、マスクを着用するかしないかということさえも問題になっていくところがありますので、熱中症対策とコロナ対策など、適切に対策していく必要があると思いました。そういったところで養護教諭の先生方の活躍についても考えていただきたいと思っております。以上です。</p>
<p>体育保健課長</p>	<p>これから熱中症の時期になりますので、5月末に熱中症の事故防止等に関する通知を各学校宛に発出してしております。内容としましては、適切な水分補給や処置を行うことができる環境の整備等について、また、熱中症予防強化キャンペーンに係る取組として、暑さ指数を参考にした適切な熱中症対策を実施するようにというものでございます。また、マスクの着用につきましては、熱中症などの健康被害が発生する可能性が高いと判断した場合は、マスクを外すようにということで、各学校に通知しているところでございます。</p>
<p>市長</p>	<p>学校現場の判断に任せるところもあるかと思えますけど、委員からご指摘のあった通り、これから大変心配される熱中症対策について、是非学校に対して徹底してもらえればと思います。</p>

<p>上杉委員</p>	<p>他にございますか。</p> <p>各方面からの対策ありがとうございます。</p> <p>2 ページで抗原検査を受けられた方が、PCR 検査でも 100%陽性になられているということを聞きました。今、学校現場で感染者が出た場合、濃厚接触者の特定やPCR 検査を受けるなど、1 日半から 2 日ほど教育活動が停止してしまう状況があり、大事な大会と重なった場合は、その大会に出られないということも起きています。また、一度濃厚接触者でないと言われた方が、後日発熱するなど、1 週間の間で 2 度、3 度、自宅待機、登校時間をずらすなどの対応が続いております。そういった状況もあり、保護者としても不安ですし、子どもとしても先が見えない不安を抱えております。15 分、20 分くらい待てば抗原検査の結果が出るとお聞きしておりますので、可能であれば、抗原検査の検査対象を広げるなどの対応ができればなと思います。以上です。</p>
<p>体育保健課長</p>	<p>県において、各学校用の抗原検査キットを準備しておりますので、委員ご指摘の場合など、活用できるように体制を整えて参りたいと考えております。</p>
<p>古城（一）委員</p>	<p>6 ページ、ICT 関係の確認でございます。実際にタブレット端末が配付されました。設定等含めて今後ということでしょうか、2 週間程度超える臨時休業となる場合が大前提なのでしょうか。例えば 1 週間だったら使わないということなのか、お聞きします。</p>
<p>大分市教育センター長</p>	<p>現状といたしましては、子どもたちが持ち帰るにあたって、自宅で操作を行わなければいけないということで、長期を想定するのであれば、操作の習熟度によって差が生じないよう、分散登校で操作方法を指導するなどの対応が必要となることから、2 週間程度以上と考えています。今後、授業の中で端末等を使用し、操作技術を学んでいけば、短期間の臨時休業においても、端末を持ち帰っての対応ができるものと考えておりますので、学校、児童生徒の習熟度の状況に応じて変更したいと思っております。</p>
<p>岡野委員</p>	<p>先ほどの古城委員の質問に関連しますが、端末の持ち帰りを認め、遠隔授業ソフトを利用した双方向のやり取りを実施しているとあります。コロナが長期化しているなか、去年と違うのはそういった設備が整ってきたことだと思います。実際にどれくらい実施されていて、それに対しての改善点や課題などについてお聞きします。</p>

大分市教育センター長	<p>個別の貸し出しにつきましては、小中学校 4 校で 11 名の児童生徒に貸与しております。顔を見ながら健康状態の把握、学習状況の説明、質問への回答等を行っておりますので、家庭からは安心して自宅で学習ができた后感想をいただいております。今後は、例えば一斉休業となれば、教員が教室から子どもたちに簡単な説明をするなどの学習支援が行われることになると思います。現状としましては、通常の授業で端末を使えますので、授業の中で子どもの操作技術の習熟を図る活動に努めているところでございます。</p>
廣津留委員	<p>端末についての質問です。コロナ対策として一人 1 台端末を導入したと思うのですが、コロナが収まってから、一人 1 台与えられている端末を授業で使うのか、宿題提出に使うのか、スライドを作成し、発表で使うのかなど、長期的なプランが現段階であるのでしょうか。</p>
大分市教育センター長	<p>現状としましては、授業の中で資料の提示を受けて、個別に検討するとか、文章を作るとか、教員が作ったものを児童生徒が自分でシミュレーションしながら理解を深めていくなど、授業の中での活用を考えております。</p> <p>今後、操作や取り扱い、管理も含めて適切に行えるようになれば、家庭からのご理解をいただくなかで、家庭への持ち帰りによる家庭学習に活用出来るかということを検討しているところです。</p>
市長	<p>それでは、この件につきましては、以上にさせてもらいまして、また後ほど全体で何かありましたら、ご発言いただければと思います。</p> <p>次に、教育大綱・教育ビジョンの関連事業につきまして、ご審議いただきたいと思っております。</p> <p>まず説明をお願いします。</p>
企画課長	<p>企画課長の小野でございます。</p> <p>令和 3 年度「大分市教育大綱・大分市教育ビジョン」の関連事業についてご説明申し上げます。</p> <p>右上に資料 2 と書かれた A3 横の資料をご覧ください。</p> <p>こちらの資料は、大分市教育大綱、大分市教育ビジョンにおける基本方針ごとに、教育大綱における目標、教育ビジョンにおける重点施策に関連する事業について、まとめた資料となります。</p> <p>本日は、これら関連事業のうち新規事業、拡充事業、重点事業を中心にご説明させていただきます。</p> <p>なお、資料右上に記載しておりますが、事業名の横に赤い星印をつけたものが新規事業、赤い四角が拡充事業、そして赤い丸印が継続の重点事業</p>

<p>教育総務課長</p>	<p>となります。</p> <p>これらの事業につきましては、市長部局と教育委員会が連携しながら進めておりますが、説明は、初めに教育委員会で所管しております事業について行ったのち、市長部局で所管しております事業の順で説明させていただきます。</p> <p>それでは、2ページをご覧ください。</p> <p>先ほどご覧いただいた資料に記載のありました事業の概要等をまとめた一覧表となります。上段にありますように、ここでは、オレンジ色で示しております事業が新規事業、水色が拡充事業、そして緑色が継続の重点事業となっております。また、3ページの9番のように番号の下に（市）と記載した事業は市長部局の事業でございます。</p> <p>それでは、教育委員会の事業につきましては、教育総務課長から説明いたします。</p> <p>教育総務課長の高田でございます。</p> <p>教育委員会が所管する主な事業につきましてご説明いたします。恐れ入りますが、座って説明させていただきます。</p> <p>始めに2ページをご覧ください。</p> <p>5番の重点事業の「学習支援員配置事業」につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた学校教育活動等に際し、子どもたちの「学びの保障」のために、各学校に学習支援員を配置するものでございます。本年度につきましては、小学校6学級以上、中学校3学級以上の小中学校78校に、計78名を配置したところでございます。</p> <p>続きまして3ページをご覧ください。</p> <p>11番でございます。重点事業の「外国語指導助手招聘事業」につきましては、外国語指導助手（ALT）を各学校へ派遣し、学級担任又は教科担当とともに授業を行うものでございます。本年度につきましては、JETプログラムに加え、コロナ禍においても人材確保が可能となる民間派遣事業者の活用により、ALT35名体制を目指しております。</p> <p>続きまして15番の拡充事業の「特別支援等教育活動サポート事業」につきましては、学習や生活指導上、特に配慮が必要な児童、生徒に対し、補助教員を配置するもので、本年度につきましては5名増員の131名分の予算を確保する中、現在129名を配置したところでございます。</p> <p>続きまして4ページをご覧ください。</p> <p>17番の拡充事業の「不登校児童生徒支援事業」につきましては、学校に登校できるものの教室に行けない生徒や、登校に無気力さや不安を抱える生徒を支援するものでございます。今年度につきましては、スクールライフサポーターを3名増員し、6中学校と義務教育学校の計7校に配置した</p>
---------------	---

<p>企画課長</p>	<p>ところでございます。</p> <p>続きまして、20番の拡充事業の「奨学助成事業」につきましては、高校生等を対象とした奨学資金の貸付を行うほか、高校生を対象に返済の必要のない給付型奨学金として奨学資金の給付を行うものでございます。今年度につきましては、給付型奨学金である「未来自分創造資金」の募集定員を30名増員し、100名としたところでございます。</p> <p>続きまして、5ページをご覧ください。</p> <p>29番の新規事業の「学校連絡システム整備事業」につきましては、学校と保護者等関係者への連絡体制の整備を行い、児童生徒の安全・安心を一層促進することができるよう、全市立学校に統一した「学校連絡システム」を導入するものでございます。今年度につきましては、アンケート機能や欠席遅刻連絡機能等を備えたシステムを構築することとしております。</p> <p>続きまして、30番の拡充事業の「スクールサポートスタッフ配置事業」につきましては、教職員の事務負担の軽減並びに新型コロナウイルス感染症対策を図るため、スクールサポートスタッフを配置するものでございます。今年度につきましては、6学級以上の学校に合計73名を配置したところでございます。</p> <p>続きまして、6ページをご覧ください。</p> <p>35番の重点事業の「関崎海星館施設整備事業」につきましては、平成7年に開館した大分市関崎海星館について、施設の長寿命化及び機能の強化を図るものでございます。今年度につきましては、建物改修及び外構工事の実施設計を行うとともに、望遠鏡の更新やプラネタリウムの新設など天文関連の製作・製造を2か年で行うこととしております。</p> <p>7ページをご覧ください。</p> <p>47番の重点事業の「大友氏遺跡保存整備事業」につきましては、令和元年度に改訂しました「史跡大友氏遺跡整備基本計画（第1期）」に基づきまして、令和2年度から中期整備に着手したところでございます。今年度につきましては、「大おもて」の立体復元に向けた詳細な検討を行うとともに、歴史文化観光拠点施設の基本機能の方向性を含む基本構想の素案を策定することとしております。</p> <p>教育委員会の所管する事業についての説明は以上でございます。</p> <p>続きまして、市長部局の関連事業についてご説明いたします。</p> <p>3ページにお戻りください。</p> <p>10番の重点事業の「オースチン市姉妹都市提携30周年記念事業」につきましては、本市の中学生5名をオースチン市に派遣し、テキサス大学等で英語を学ぶほか、姉妹都市委員会との交流や市長表敬訪問などを行う予定です。帰国後は、現地での体験の発表や次年度以降の参加者のサポート</p>
-------------	---

	<p>をすることとしております。なお、本事業の実施は新型コロナウイルス感染症の収束を前提としたものでございます。実施の判断に関しましては慎重に行ってまいります。</p> <p>次に、6ページをお開きください。</p> <p>39番の拡充事業「子どもの学習支援事業」につきましては、家庭の経済状況により学習塾に通えない子どもたちの学力や学習意欲の向上を図るため、「生活保護受給世帯」および「就学援助受給世帯」の中学生を対象に学習塾にかかる費用の一部を助成するものでございます。対象者に対しては、制度の広報を丁寧に行いながら、今後も利用者が増加するよう努めてまいります。</p> <p>7ページをお開きください。</p> <p>48番の拡充事業の「アートレジオン推進事業」につきましては、旧小学校を市内外のアーティストにアトリエとして貸出し、制作活動やアートイベントを通して、文化・芸術の振興および地域活性化を図っております。現在は、旧大志生木小学校と旧野津原中部小学校をアトリエとして貸し出しております。合わせて12名のアーティストが活動されております。</p> <p>50の重点事業の「トップアスリート育成・支援事業」につきましては、本市にゆかりのある選手で大分県スポーツ協会が指定する強化選手に対し、東京2020オリンピック・パラリンピック閉会後においても、国際大会等で活躍できるよう競技活動に係る経費等の補助を行う事業でございます。</p> <p>議事2、令和3年度「大分市教育大綱・大分市教育ビジョン」関連事業の説明につきましては、以上でございます。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>また、駆け足のご説明になりましたけど、資料2の1ページが体系になっておりますので、これをそれぞれ関連事業ということで整理するとそれから後の資料ということでございます。</p> <p>それでは、ご意見をいただければと思います。</p>
市長	
上杉委員	<p>4ページの17番拡充事業のスクールライフサポーター、現在7校ということですが、どの学校にも困りを抱えた生徒がいる状況ですので、是非全ての学校に配置していただきたいと思います。また、低年齢化している状況もありますので、早い段階で支援できるように、さらには、小中高がつながるように、個の学校でサポートするのではなくて、全ての教育活動の流れの中で繋げていただきたいという思いがあります。また、小中学校時代のトラウマが高校生活にも響いているお子さんを見るととても苦しくなります。是非、学校間の繋がりを持って、中学校で終わるのではなく、</p>

<p>学校教育課長</p>	<p>その先も、お子さんの生活もサポートできるようにお子さんを取り巻く家族、近くにいる保護者も含め、関わっている大人たちがしっかりサポートできるようにという思いがあります。</p> <p>不登校の児童生徒につきましては、大分市の喫緊の課題の一つだと捉えております。教育委員の方にもこれまでもご説明させていただいておりますけれども、近年その要因が学校内の人間関係だけではなく、子どもたち自身の無気力や無関心そういったことも背景にあるところでございます。これまで、学校ではそれぞれの学校が別室を準備しまして、子どもたちの受け入れをしてきましたけれども、1週間、朝から夕方まで1人の教員が関わることができにくく、時間を替えて教職員が変わるがわる子どもたちに対応してきたところであります。こうした実態を踏まえまして、昨年度から市費の職員でこうした支援員を学校に配置させていただいているところでございます。昨年度は4校、そして今年度はさらに3校加えまして7校ということでございます。</p> <p>昨年度、4校に59名の児童生徒が通うことができました。このうち、33名が中学校3年生でした。3年生で不登校の子どもたちは、なかなか卒業式に参加できずに、学級担任がご家庭に卒業証書を届けたり、あるいは午後に校長室で小さな卒業式を行ったりしておりましたが、この33名のうち17名が全体の卒業式に出席しました。また、高等学校に進学することが全てではございませんが、この33名のうち28名が高等学校に進学できました。1つの選択肢として、高等学校への進学といった選択の幅が広がり、その道を選んだということであろうかと思っております。今後ともこうした配置事業を進めさせていただきたいと思っております。以上です。</p>
<p>古城（和）委員</p>	<p>関連ですが、その1つの中学校を昨年度教育委員で視察をいたしました。子どもたちのニーズが相当高いということが分かりました。1つの部屋にぎっしりと入っていて、配置された先生から指導を受けて、しかもその時間に授業がない先生も援助している形で学校全体を上げて取り組まれておりました。</p> <p>これは、大分市独自の取組だと聞いておりますので、是非とも拡大して、別の学校でも配置をお願いしたいと考えております。以上です。</p>
<p>廣津留委員</p>	<p>3ページの15番の特別支援等教育活動サポート事業についてですが、先月の教育委員会の会議で教員の残業時間の資料をいただきまして、なぜ教員の残業時間が多いのかという項目の中に、放課後に担任が生活指導をしないとイケないために残業時間が増えている状況がありましたので、サポート事業は素晴らしいと思うのですが、この補助教員は、時間外の対応を</p>

<p>学校教育課長</p>	<p>されているのでしょうか。もしされている場合は、その残業時間を減らすことに役に立っているのではないかと思うのですが、その分担が重要なかと思ひまして、その補助教員の時間外のサポート、それから、担任が生徒一人一人に対応しないといけないのはわかるのですが、そこを分担しないとただでさえコロナで担任の負担も多くなっていますので、そのあたりの役割分担がどうなっているのかお伺いします。</p> <p>先日、教育委員会の中でも教職員の時間外勤務の縮減について、ご意見をいただいているところでございます。様々な教職員の支援を行っておりますが、ご意見いただきましたこの特別支援等教育活動支援サポート事業につきましては、主に特性がある子どもたちへの個別支援ということで、補助教員を本年度は129名配置させていただいております。</p> <p>教職員の支援ということでは、スクールサポートスタッフを配置しており、消毒等の作業を放課後等に行ったり、教職員が授業で使う印刷物の印刷の支援をいただいたりしているところです。</p> <p>なお、補助教員やスクールサポートスタッフについては、原則、時間外勤務ではなく、決められた勤務時間内で学校への支援をいただいているところでございます。</p> <p>ご指摘いただきましたように、今年度も教職員の時間外勤務縮減に向けて、指導・支援をして参りたいと思っております。</p>
<p>古城（一）委員</p>	<p>教育大綱・教育ビジョンに直接関係するものではないのですが、今、STEAM教育と申しまして、理数系、アートや文化をバランス良く学んでいこうということで、文部科学省からそういった考えが出ております。海外でもそういったことを取り入れて、たぶん廣津留委員はお詳しいと思うのですが、文部科学省からそれに沿ったところでおりにてきているものなののでしょうか。また、これからなののでしょうか。</p>
<p>学校教育課長</p>	<p>理数系教育の充実につきましては、すでに求められているところでございまして、数学、理科といった各教科について、小から中そして中から高への連続性が重要であると考えております。現段階において、特に文部科学省から通知を受けていることはないようでございます。</p>
<p>古城（一）委員</p>	<p>これにアートが入ってということで、世界的な潮流らしいです。状況が分かりました。ありがとうございました。</p>
<p>廣津留委員</p>	<p>STEAM教育について少し補足させていただきます。サイエンス、テクノロジー、エンジニアリングそしてマスマティクスの理数系を特に評価</p>

<p>市長</p>	<p>するということで、今まではSTEM教育がとても大事だと言われてきたのですが、その中にアートの「A」を入れることによって、STEAM教育と呼ばれています。これはアメリカでも5年、10年言われていることですが、これから例えば、AIにとって変わられたときも、何が大事かということで、例えば、楽器に小さい時から触れることで、創造力、コラボレーション、自主性、人とのチームワークなどが育まれたり、目に見えない文化的な知識が身に付いたりということで、STEAM教育がかなり注目されているところかと思います。</p> <p>今までの教育の在り方も大事ですが、STEAM教育は、文部科学省も段々と力を入れて、今までに目に見えてなかったところがこれから技術の進歩で逆に、大事になってくるのではないかということだと思います。</p> <p>これからSTEAM教育について、もっともっと日本で話題になるのではないかと思いますので、是非、取り入れて行ければと思います。</p> <p>是非、大分の教育で先取りをして、取り組んで行ければと思いますのでよろしくお願いいたします。</p> <p>他にございますか。</p>
<p>岡野委員</p>	<p>6ページの39番の拡充事業「子どもの学習支援事業」に関してですが、生活保護受給世帯と就学援助受給世帯の中学生が対象とありますが、コロナの関係で今後半年とか1年後に、今この制度を受けていなくても、ギリギリのところ収入が減ってしまった世帯等が増えていくと思われま。</p> <p>今、コロナの支援金などにおいて、3ヵ月間の収入が昨年度よりも何%減っていたらというような形で受給する場合がありますが、本当にコロナの影響で子どもたちの学習面に影響しないことが大切ではないかと思えます。なかなか塾に行けなくなるとか、高校の進路も変えざるをえないとか、そういう状況が生まれないように、少し広げるとか、そういったことを考えているのでしょうか。</p>
<p>生活福祉課長</p>	<p>昨年度の実績を見ますと、利用者の数も増えており利用率も上がっている状況でございます。ただ、このコロナ禍におきまして、学習塾そのものの学習スタイルが変わっていくということが考えられますので、端末を使い塾に行かないで受けられるようなシステムなども今後構築されていく可能性があります。そういうものに対応していけるか今後の課題として考えていきたいと考えております。</p>
<p>市長</p>	<p>生活に大きな影響が出ている方もたくさんいらっしゃるの、そういう方への支援、事業者に対する支援なども行っていますが、併せて、もとも</p>

	<p>と学びの機会、学びたいという意欲、貧困によって能力のある人が勉強できなくなってしまうようにいろいろな施策を講じるべきだということを総合教育会議でも議論しております。コロナ禍でそういうニーズが広がっていくと思いますので、そもそも形が変わっていく場合は、また別に対応した取組を検討していく必要があると思います。</p>
上杉委員	<p>先ほどのSTEAM教育というところと関連して、7ページの48番・49番、市長部局ということですが、施設の活用と教育現場として教育の方で、そこはしっかりと手を繋いで進めて行ければと思います。</p>
文化振興課長	<p>アートレジオン推進事業で、12名のアーティストの方々が、野津原の旧中部小学校、佐賀関の旧大志木小学校に入られて定期的に活動しています。また、子どもアート学校を開催し、それぞれのアーティストがワークショップを開催して、コロナ禍ですのであまり大人数ではないのですが、定員を10名程度にして、それぞれ1日、2日かけて、一緒にアート作品を作ったり、そういった情操教育を行っております。</p> <p>また、野津原の音のフェスティバルにつきましては、教育委員会と連携いたしまして、吹奏楽部のある中学校に声かけをいたしまして、吹奏楽部が練習する場を提供すると共に、アルゲリッチ芸術振興財団の方々も一連のプログラムの中で登場する中で発表の場を設けることで、交流や活性化を図っております。</p> <p>また、各地域においても、クラシックを中心に、どこでもコンサートを無料で開催しております。今年度は年間通して9回ほど計画しており、大分市にゆかりのあるアーティストを2名から3名、30分から1時間かけて、ミニコンサートを支所や公民館で開催しており、子どもたちに音楽を生で体感していただけることを提供しているところでございます。これからも推進してまいりたいと考えております。</p> <p>以上でございます。</p>
市長	<p>それでは、そろそろ時間になっておりますので、最後に佐藤教育長お願いします。</p>
教育長	<p>様々な視点から、たくさんの意見をいただきましてありがとうございました。中でも、1番苦慮しているのはコロナ感染症対策でして、委員からのご意見の多くは少なからず関連することだったと思いますが、「子どもたちのために」というところを第一に考えてやっていきたいと思っているところでございます。そういった視点で今後のコロナ対策について進めて参りたいと思っております。</p>

<p>市長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>全体を通して何かございますか。よろしいでしょうか。</p> <p>本日は大変貴重なご意見いただきましてありがとうございました。</p> <p>今、教育長からお話がありましたが、コロナ禍の中でも対策を万全にしながら、子どもたちの学びや活動の機会を出来るだけ確保、大事にするという取組が大事だと思います。先ほどの抗原検査キットの活用もそうだと思いますし、それぞれいろいろな体制を整えてもらっている部分がありますので、そういう部分を活用しながら、しっかりと取り組みたいと思います。</p> <p>それでは、本日は誠にありがとうございました。</p> <p>事務局お願いします。</p>
<p>企画部長</p>	<p>ありがとうございました。以上をもちまして、令和3年度第1回大分市総合教育会議を終了いたします。</p> <p>次回の開催日程や議題等につきましては、事務局で調整させていただき、改めてご連絡申し上げます。皆様、本日は誠にありがとうございます。</p>